








SDGs未来都市等進捗評価シート

北海道札幌市

2020年8月

SDGs未来都市計画名	札幌市SDGs未来都市計画
特に注力する先導的取組	札幌都心の低炭素で持続可能なまちづくり

1. 全体計画

計画タイトル	札幌市SDGs未来都市計画																																
2030年のあるべき姿	「次世代の子どもたちが笑顔で暮らせる持続可能な都市『環境首都・SAPPORO』」を将来像とし、その実現に向けて「環境」の取組の推進を「起点」とした、「経済」や「社会」への波及を目指すとともに、北海道という地域特性を活用した取組を進め、「寒冷地における環境都市」の世界モデルの構築を目指す。																																
2030年のあるべき姿の実現に向けた優先的なゴール	<p style="text-align: center;">経済</p> ゴール8 ターゲット8.3,8.4,8.9 ゴール11 ターゲット11.3,11.7,11.a  	<p style="text-align: center;">社会</p> ゴール3 ターゲット3.4,3.6 ゴール11 ターゲット11.2,11.7  	<p style="text-align: center;">環境</p> ゴール7 ターゲット7.2,7.3 ゴール12 ターゲット12.2,12.6,12.8 ゴール13 ターゲット13.1,13.3   																														
優先的なゴール、ターゲットに関するKPI	<table border="1"> <thead> <tr> <th>#</th> <th>指標名 ※[]内はゴール・ターゲット番号</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>年間来客数【8.3, 8.4, 8.9】</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>SDGsをテーマとした北海道内連携自治体数【11.3, 11.7, 11.a】</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>住宅及び住環境に満足している人の割合【3.4, 3.6, 11.2, 11.7】</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>市内における温室効果ガス排出量【7.2, 7.3, 13.1, 13.3】</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>市内におけるごみ排出量【12.2, 12.6, 12.8】</td> </tr> </tbody> </table>	#	指標名 ※[]内はゴール・ターゲット番号	1	年間来客数【8.3, 8.4, 8.9】	2	SDGsをテーマとした北海道内連携自治体数【11.3, 11.7, 11.a】	3	住宅及び住環境に満足している人の割合【3.4, 3.6, 11.2, 11.7】	4	市内における温室効果ガス排出量【7.2, 7.3, 13.1, 13.3】	5	市内におけるごみ排出量【12.2, 12.6, 12.8】	<table border="1"> <thead> <tr> <th>当初値</th> <th>2030年</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2016年 1,388 万人</td> <td>2022年 1,800 万人</td> </tr> <tr> <td>2016年 - 自治体</td> <td>2030年 10 自治体</td> </tr> <tr> <td>2013年 82.1 %</td> <td>2028年 90 %</td> </tr> <tr> <td>2015年度 1,251 万t-CO₂</td> <td>2030年度 701 万t-CO₂</td> </tr> <tr> <td>2016年度 59.1 万t</td> <td>2027年度 52.3 万t</td> </tr> </tbody> </table>	当初値	2030年	2016年 1,388 万人	2022年 1,800 万人	2016年 - 自治体	2030年 10 自治体	2013年 82.1 %	2028年 90 %	2015年度 1,251 万t-CO ₂	2030年度 701 万t-CO ₂	2016年度 59.1 万t	2027年度 52.3 万t	<table border="1"> <thead> <tr> <th>進捗状況や課題等（定性指標や補助指標等を含む）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2019年の札幌市の年間来客数は、1,526.4万人と前年度から3.7%減少した。新型コロナウイルス感染症の影響により、外国人観光客数の回復のめどが立たないことから、早期に観光需要を回復させるため、まずは道内を中心とした国内観光客をターゲットとした取組を進めていく。</td> </tr> <tr> <td>2019年に札幌ドームで開催した「環境広場さっぽろ2019」で、北海道内のSDGs未来都市（北海道、ニセコ町、下川町、札幌市）が連携し、自治体職員向けのSDGs導入プログラムを実施した。</td> </tr> <tr> <td>最新値の統計データ（国土交通省「平成30年住生活総合調査」）の市町村データは非公表のため、把握できていない。（本計画改定時には、随時把握が可能な指標に変更を検討）</td> </tr> <tr> <td>2018年度の市内における温室効果ガス排出量は1,155万t-CO₂であり、減少傾向にあるが、引き続き、目標に向けてより一層の取組を進めていく。</td> </tr> <tr> <td>2018年度のごみ排出量は60.6万tと2016年度より増加しているため、目標に向けてより一層の取組を進めていく。</td> </tr> </tbody> </table>	進捗状況や課題等（定性指標や補助指標等を含む）	2019年の札幌市の年間来客数は、1,526.4万人と前年度から3.7%減少した。新型コロナウイルス感染症の影響により、外国人観光客数の回復のめどが立たないことから、早期に観光需要を回復させるため、まずは道内を中心とした国内観光客をターゲットとした取組を進めていく。	2019年に札幌ドームで開催した「環境広場さっぽろ2019」で、北海道内のSDGs未来都市（北海道、ニセコ町、下川町、札幌市）が連携し、自治体職員向けのSDGs導入プログラムを実施した。	最新値の統計データ（国土交通省「平成30年住生活総合調査」）の市町村データは非公表のため、把握できていない。（本計画改定時には、随時把握が可能な指標に変更を検討）	2018年度の市内における温室効果ガス排出量は1,155万t-CO ₂ であり、減少傾向にあるが、引き続き、目標に向けてより一層の取組を進めていく。	2018年度のごみ排出量は60.6万tと2016年度より増加しているため、目標に向けてより一層の取組を進めていく。
#	指標名 ※[]内はゴール・ターゲット番号																																
1	年間来客数【8.3, 8.4, 8.9】																																
2	SDGsをテーマとした北海道内連携自治体数【11.3, 11.7, 11.a】																																
3	住宅及び住環境に満足している人の割合【3.4, 3.6, 11.2, 11.7】																																
4	市内における温室効果ガス排出量【7.2, 7.3, 13.1, 13.3】																																
5	市内におけるごみ排出量【12.2, 12.6, 12.8】																																
当初値	2030年																																
2016年 1,388 万人	2022年 1,800 万人																																
2016年 - 自治体	2030年 10 自治体																																
2013年 82.1 %	2028年 90 %																																
2015年度 1,251 万t-CO ₂	2030年度 701 万t-CO ₂																																
2016年度 59.1 万t	2027年度 52.3 万t																																
進捗状況や課題等（定性指標や補助指標等を含む）																																	
2019年の札幌市の年間来客数は、1,526.4万人と前年度から3.7%減少した。新型コロナウイルス感染症の影響により、外国人観光客数の回復のめどが立たないことから、早期に観光需要を回復させるため、まずは道内を中心とした国内観光客をターゲットとした取組を進めていく。																																	
2019年に札幌ドームで開催した「環境広場さっぽろ2019」で、北海道内のSDGs未来都市（北海道、ニセコ町、下川町、札幌市）が連携し、自治体職員向けのSDGs導入プログラムを実施した。																																	
最新値の統計データ（国土交通省「平成30年住生活総合調査」）の市町村データは非公表のため、把握できていない。（本計画改定時には、随時把握が可能な指標に変更を検討）																																	
2018年度の市内における温室効果ガス排出量は1,155万t-CO ₂ であり、減少傾向にあるが、引き続き、目標に向けてより一層の取組を進めていく。																																	
2018年度のごみ排出量は60.6万tと2016年度より増加しているため、目標に向けてより一層の取組を進めていく。																																	

1. 全体計画

行政体内部の推進体制	自治体SDGsの情報発信・普及啓発の取組状況・課題	有識者からの取組に対する評価
<p>■各種計画への反映状況や課題</p> <p>1. 札幌市まちづくり戦略ビジョン・アクションプラン2015（2015～2019年度） 2019年12月に、札幌市まちづくり戦略ビジョン・アクションプラン2019（2019～2022年度）を策定し、SDGsの視点を反映。</p> <p>2. 第2次札幌市環境基本計画（2018～2030年度） 2018年3月に策定し、SDGs達成を計画に位置づけ。</p> <p>3. 都心エネルギーマスタープラン（2017～2035年 ※目標年次：2050年） 2019年12月に、本計画の実行計画にあたる都心エネルギーアクションプラン（2019～2030年度）を策定し、SDGs達成に貢献していく視点を反映。</p> <p>■行政体内部の執行体制及び首長のリーダーシップ 札幌市長の施政方針として、札幌市の施策全体をSDGsの視点から捉えなおし、多様な主体と連携して持続可能なまちづくりを推進することが掲げられている。</p>	<p>■札幌市職員による出前講座やセミナー等への登壇、リーフレットや動画の作成により、SDGsの普及啓発や取組発信を行っているほか、(株)吉本興業と連携したウォーキングイベント「SDGsウォーク」を開催した。</p> <p>また、毎月札幌市内全ての小学生に配布されている環境情報誌「エコチル」において、SDGsを解説するコーナーを展開（不定期）したり、SDGsに関する短編動画コンテスト「SDGs Creative Award」を同実行委員会と北海道との共催で2020年3月に開催した。さらに、2019年8月に札幌ドームで開催した「環境広場さっぽろ2019」において、テーマを「環境とSDGs」とし、SDGsに取り組む企業や団体の紹介、札幌市の取組紹介などを実施し、2日間の会期で約26,000人が来場するなど、様々な手法でSDGsに関する情報発信や普及啓発を実施している。</p> <p>一方、市民のSDGsに関する認知度については、2019年1～2月の調査では「ロゴマークを見たことがある」と回答した割合が3.5%（2018年度）から19.5%（2019年度）に増加しているものの、未だに「全く知らない」が半数以上いることから、引き続き情報発信・普及啓発を行っていく。</p>	<p>■SDGsが多様なゴールに気づかせるツールであることに鑑み、環境面のみに限らず多様なゴールの重要性を各ステークホルダーに認識してもらおうと共に、施策実施においても多様な観点からのチェックを行うことができる仕組みの構築をすることを期待する。</p> <p>■QOLについて、MICEの取組を含めて、交流機会が制限される中での目標の再検討なども含めて、代替指標の検討などを期待する。</p>
ステークホルダーとの連携	地方創生・地域活性化への貢献	
<p>■域内の連携）札幌市SDGs未来都市計画で連携先としているRCE北海道道央圏協議会や環境省北海道地方環境事務所、JICA北海道国際センター、各種メディア連携など、各機関とは良好な関係を構築しており、SDGsに関するセミナーやフォーラム等を協働で開催したり、SDGsの展開に関する情報交換を行うなど、連携を深めている。また、フェアトレードタウンさっぽろ戦略会議が中心となり、札幌市は2019年5月に国内5番目のフェアトレードタウンに認定された。</p> <p>■自治体間の連携）2019年8月に札幌ドームで開催した「環境広場さっぽろ2019」で、北海道内のSDGs未来都市（北海道、ニセコ町、下川町、札幌市）が連携し、北海道内の他の自治体職員向けのSDGs導入プログラムを実施した。</p> <p>■国際的な連携）2019年9月にニューヨークで開催された「SDGサミット2019」で、イクレイ世界事務局を通じ、札幌市のSDGsに関する取組として、高断熱・高気密住宅や都心エリアでの地域熱供給について発信した。また、世界冬の都市市長会では、2016年の第17回市長会議において継続することとした各都市の環境行動目標の達成に向けて行動しており、その成果は2021年にフィンランド・ロヴァニエミ市で開催予定の第19回市長会議で、各都市から報告予定である。今後も、会員都市が連携して冬の都市に求められる持続可能なまちづくりの実現に資する施策の共有を進める。</p>	<p>■パリ協定を契機とした近年の気候変動対策に関する大きな動きの中、札幌市は2020年2月に「2050年までに温室効果ガス排出量の実質ゼロ」を目指すことを表明したことから、積雪寒冷地としての課題である冬期間の暖房エネルギーの大きさとそれに伴うCO₂排出量の多さ、さらには化石燃料の消費に伴う資金の域外流出については、引き続き企業のRE100への加盟や投資分野でのダイベストメントなどの動きを市内事業者とも共有し、断熱・気密性の高い住宅や建築物、さらにはZEB・ZEHなどの普及を進めることで、資金の域外流出防止と市内事業者の活性化につなげていく。</p> <p>また、ここ数年でSDGsやサステナビリティに関心の高い若者、特に中高大学生が市内でも増えてきており、企業のサステナビリティに関する取組に高い興味を示していることから、SDGsに取り組む市内事業者を増やすことで、そのような若者とのマッチングを図り、市内企業が課題と感じている「人手不足」への対応なども視野に入れつつ、市内の経済成長や市民生活の向上につなげていく。</p> <p>2019年度は、若い世代から気候変動について共に行動できることを考える連続講座「みんなの気候変動ゼミ・ワークショップ」や事業者と市民が共にできる活動について考え、アクションにつなげていく場として、札幌市長をチームリーダーとした「札幌市みんなで考える気候変動対策会議」を開催し、市民活動の活性化を支援する取組を行った。</p>	

1. 全体計画

	取組名	ターゲット	指標名	当初値	2019年	2020年	達成度 (%)	進捗状況や課題等 (定性指標や補助指標等を含む)
自治体SDGsの 推進に資する 取組の 2020年のKPI	都市のサステナビリティの向上を通じた、国際観光・MICE誘致に向けた取組	7.2, 7.3, 8.3, 8.9	GDS-Indexランキング	2017年 18位	2019年 20位以下	2020年 20位以内を継続	<p>0%</p>	2018年以降、サステナビリティを推進する都市の加盟増加に加え、評価項目が増えたことにより、札幌市が目標とする20位以内の達成ができていない。目標達成に向けて、ステークホルダーとの連携を強化するなど、より一層の取組を進めていく。
	持続可能な消費形態の確保を通じた、北海道内の経済循環に向けた取組	8.3, 8.4, 11.a, 12.2, 12.6, 12.8	札幌市の「フェアトレードタウン」認定	2018年6月 未認定	2019年 認定	2020年 認定	<p>100%</p>	2019年5月23日に、国内5番目の「フェアトレードタウン」に認定され、指標の目標を達成したが、引き続き、持続可能な消費形態の確保に向け、市民への啓発や理解促進に取り組んでいく。
	日本一の断熱性能を誇る住宅の普及を通じた、QOLの向上に向けた取組	3.4, 7.2, 7.3, 13.1, 13.3	新築戸建住宅の「札幌版次世代住宅基準」達成率	2017年 (2016年度) 53%	2018年 43.3%	2019年 85%	<p>-30%</p>	2019年の実績値は今年度調査予定。(12月を目途に公表予定) 札幌版次世代住宅基準「ベーシックレベル」相当(UA値0.36)以上の断熱性能を持つ住宅は43.3%となった。「札幌市まちづくり戦略ビジョン・アクションプラン2019」への改定時に成果指標を「スタンダードレベル」相当(UA値0.28)以上の達成率としているため、本計画においても改定時に指標の変更を予定。「スタンダードレベル」相当以上は2018年度で20.3%(目標17%)と順調に推移している。
	「歩いて暮らせるまちづくり」を通じた、QOL向上に向けた取組	3.6, 7.2, 7.3, 11.2, 11.7	住宅及び住環境に満足している人の割合	2013年 82.1%	2018年 非公表 %	2020年 80%	<p>データなし</p>	最新値の統計データ(国土交通省「平成30年住生活総合調査」)の市町村データは非公表のため、把握できていない。(本計画改定時には、随時把握が可能な指標に変更を検討) ※参考) 札幌市まちづくり戦略ビジョン・アクションプラン2019の成果指標として把握している「住んでいる地域の住環境に満足している人の割合」の現状値は、72.6%(2017年度)である。

2. 特に注力する先導的取組

取組名	札幌都心の低炭素で持続可能なまちづくり
取組の概要	札幌都心部のまちの更新に合わせて、第2次都心まちづくり計画と都心エネルギーマスタープランを一体的に展開することにより、パリ協定とSDGsの達成を先導する低炭素で持続可能なまちづくりのモデルを形成し、そのノウハウを市内の他の拠点地域や国内外の都市へと波及させることを目指す。

取組名	ターゲット	指標名	当初値	2019年	2020年	達成度 (%)	取組内容	当該年度の取組状況の評価と今後の課題	
三側面ごとの取組・事業とKPI (2020年)	【経済】 ①-1 高性能なオフィス環境を備えたビルへの建替の促進 ①-2 低炭素で持続可能なまちづくりを先導するMICE施設の整備	8.2 9.1 9.b 11.3 12.6	低炭素で持続可能なまちづくりの先導モデルとなる建物	2018年3月 3棟	2019年度 6棟	2020年度 8棟	60%	<p>【取組内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・建替え更新を予定しているビル事業者らに対し、高性能なオフィス環境を備えたビルへの建替について誘導を行った。 ・北ガスグループ本社ビル（北7東2）のしゅん功。（大規模なコジェネレーションを導入。地域熱供給での排熱利用等により札幌都心の低炭素化と強靱化を推進。） <p>【事業費】 約800万円</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・環境にやさしく災害に強い高性能なオフィスや公共施設等の創出に向けた取組を推進した。 ・今後も建替更新に合わせて先導モデルとなる建物を誘導し、都市間競争力の強化へとつなげていく。
	【社会】 ②-1 低炭素で持続可能なまちづくりとSDGsの普及啓発 ②-2 歩いて回遊しやすいリパブルなまちづくりの推進	3.4 3.9 4.7 10.2 17.14 17.17	低炭素で持続可能なまちづくりの普及啓発	2018年3月 都心エネルギーマスタープラン策定	2019年度 アクションプラン策定	2020年度 普及啓発プログラムの展開	50%	<p>【取組内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・低炭素で持続可能なまちづくりとSDGs未来都市計画の取組を国内外へ戦略的に発信するプロジェクトの内容を検討した。 ・歩いて回遊しやすいリパブルなまちづくりに向けたプロジェクトの内容を検討した。 <p>【事業費等】 約800万円（再掲）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・低炭素で持続可能なまちづくりに向けた7つのプロジェクトの内容と実施手順等を明確化する都心エネルギーアクションプランを策定した。 ・今後はアクションプランに位置付ける普及啓発及び歩いて回遊しやすいまちづくりに関するプロジェクトについて着手し、具体的なプログラムを展開していく。 <p>※達成度は、プロジェクト検討：25%、アクションプラン策定：50%、プロジェクト着手：75%、普及啓発プログラム展開：100%と設定</p>
	【環境】 ③-1 誘導推進制度の構築 ③-2 面的熱利用と再エネ電力事業の体制構築	7.1 7.2 7.3 11.3 11.a 12.5 12.6 12.8 13.1 13.2 13.3	低炭素なまちづくり及び総合エネルギー事業の枠組みづくり	2018年3月 制度、事業スキームの検討	2019年度 アクションプラン策定プロジェクト着手	2020年度 制度、事業の実施	75%	<p>【取組内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・低炭素で持続可能な都市開発誘導推進制度づくりに向けたプロジェクトの内容を検討した。 ・地域熱供給事業及び地域新電力事業の実施に向けたプロジェクトの内容を検討した。 ・エネルギーセンターの整備による北4東6再開発地区における面的なエネルギー供給体制を構築した。（低炭素で強靱なまちづくりの実現） <p>【事業費等】 約800万円（再掲）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・アクションプランを策定し、誘導推進制度、地域熱供給事業、地域新電力事業に関するプロジェクトについて協議を進めながら、具体的な取組に着手した。 ・今後は誘導推進制度の構築、地域熱供給事業の展開及び地域新電力事業の実施に向けて取り組んでいく。 <p>※達成度は、プロジェクト検討：25%、アクションプラン策定：50%、プロジェクト着手：75%、制度及び事業実施：100%と設定</p>

2. 特に注力する先導的取組

<p>三側面をつなぐ 統合的取組 (自治体 SDGs補助金 対象事業)</p>	<p>戦略的発信とイノベーション促進</p> <p>①札幌版スマートシティの発信 都心エネルギーマスタープランに基づく低炭素で持続可能なまちづくりのコンセプトやモデル性を国内外に発信し、ブランディングすることにより、都市の魅力や価値の向上へとつなげる。</p> <p>②オープンイノベーションの促進 スマートシティづくりに向け、産官学の立場や分野を超えた交流とオープンイノベーションを促進し、新たなアイデアやサービス、価値を生み出す都市型産業の創出へとつなげる。</p>						<p>自律的好循環に向けた取組状況</p> <p>■ 都心エネルギーマスタープランで示した低炭素で持続可能なまちづくりのビジョンと戦略をプロジェクトとして具体化し、取組内容と達成指標、実施手順、関係者の役割分担などを明確化する中期的な実施計画である都心エネルギーアクションプランを策定した。</p>																																								
<p>取組 内容</p>	<p>2019年</p> <p>【取組内容】 地域の関係者と低炭素で持続可能なまちづくりの戦略的な発信及びオープンイノベーションに関する先進事例を研究し、具体的な取組内容を検討した。</p> <p>【事業費等】 約800万円</p>	<p>ステークホルダーとの連携状況</p> <p>■ 地域の関係者が参画する検討テーブルである都心エネルギープラン検討会議を2回開催し、都心エネルギーアクションプランの策定に向けて協議するとともに、都心エネルギープランの取組を他の施策にも展開し、連携させるための調整を行った。</p>																																													
<p>当該年度の 取組状況の評価</p>	<p>● 低炭素で持続可能なまちづくりに向けた7つのプロジェクトの内容と実施手順等を明確化する都心エネルギーアクションプランを策定した。 今後は、アクションプランに位置付ける発信とオープンイノベーションに関する具体的なプロジェクトについて着手していく。</p>						<p>特に注力する先導的取組の普及展開状況</p> <p>■ 国内外におけるシンポジウムでの講演、勉強会や視察等を通じて、札幌都心の低炭素で持続可能なまちづくりの取組やモデル性について広く発信した。</p>																																								
<p>三側面をつなぐ 統合的取組 による 相乗効果</p>	<p>経済⇔環境</p> <p>● 環境分野における札幌・北海道の企業と海外企業との商談会を開催し、ビジネス交流を促進した。</p>	<p>経済⇔社会</p> <p>● 首都圏からのIT系企業等の進出を促進し、人材の集積と雇用の創出へとつなげた。</p>	<p>社会⇔環境</p> <p>● 都心エネルギーマスタープランの策定及びSDGs未来都市の選定、さらに2018年9月に発生した北海道胆振東部地震以降、札幌都心の低炭素で持続可能なまちづくりへの国内外からの関心が高まり、勉強会等への参加や視察に訪れる人が増加している。</p>	<p>有識者からの取組に対する評価</p> <p>■ 企業立地、フォーラム等が2020年度も高い水準で進められていることは評価される。 ■ オープンイノベーションは主要な取組内容となっているので、その実現を期待する。 ■ スマートシティに関する具体的な取組と評価指標の提示が必要である。</p>																																											
<table border="1"> <thead> <tr> <th>#</th> <th>指標名</th> <th>当初値</th> <th>2019年</th> <th>2020年</th> <th>達成度 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>【経済→環境】 環境関連ビジネス交流</td> <td>2018年3月 4件</td> <td>2019年度 7件</td> <td>2020年度 7件</td> <td>100%</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>【環境→経済】 モデル建替プロジェクト</td> <td>2018年3月 0件 (検討中)</td> <td>2019年度 0件 (検討中)</td> <td>2020年度 1件 (事業化)</td> <td>0%</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>【経済→社会】 企業誘致施策を活用した企業立地数</td> <td>2018年3月 146件</td> <td>2019年度 173件</td> <td>2020年度 164件</td> <td>150%</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>【社会→経済】 シティブランドランキング</td> <td>2018年3月 3位</td> <td>2019年度 2位</td> <td>2020年度 1位</td> <td>50%</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>【社会→環境】 フォーラム、勉強会、視察等の年間参加者数</td> <td>2018年3月 200名</td> <td>2019年度 641名</td> <td>2020年度 400名以上</td> <td>221%</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>【環境→社会】 オープンイノベーション</td> <td>2018年3月 0件</td> <td>2019年度 0件</td> <td>2020年度 1件以上</td> <td>0%</td> </tr> </tbody> </table>	#	指標名	当初値	2019年	2020年	達成度 (%)	1	【経済→環境】 環境関連ビジネス交流	2018年3月 4件	2019年度 7件	2020年度 7件	100%	2	【環境→経済】 モデル建替プロジェクト	2018年3月 0件 (検討中)	2019年度 0件 (検討中)	2020年度 1件 (事業化)	0%	3	【経済→社会】 企業誘致施策を活用した企業立地数	2018年3月 146件	2019年度 173件	2020年度 164件	150%	4	【社会→経済】 シティブランドランキング	2018年3月 3位	2019年度 2位	2020年度 1位	50%	5	【社会→環境】 フォーラム、勉強会、視察等の年間参加者数	2018年3月 200名	2019年度 641名	2020年度 400名以上	221%	6	【環境→社会】 オープンイノベーション	2018年3月 0件	2019年度 0件	2020年度 1件以上	0%					
#	指標名	当初値	2019年	2020年	達成度 (%)																																										
1	【経済→環境】 環境関連ビジネス交流	2018年3月 4件	2019年度 7件	2020年度 7件	100%																																										
2	【環境→経済】 モデル建替プロジェクト	2018年3月 0件 (検討中)	2019年度 0件 (検討中)	2020年度 1件 (事業化)	0%																																										
3	【経済→社会】 企業誘致施策を活用した企業立地数	2018年3月 146件	2019年度 173件	2020年度 164件	150%																																										
4	【社会→経済】 シティブランドランキング	2018年3月 3位	2019年度 2位	2020年度 1位	50%																																										
5	【社会→環境】 フォーラム、勉強会、視察等の年間参加者数	2018年3月 200名	2019年度 641名	2020年度 400名以上	221%																																										
6	【環境→社会】 オープンイノベーション	2018年3月 0件	2019年度 0件	2020年度 1件以上	0%																																										